

■米国：PG&E 社、山火事の被害者らに対し 135 億ドルの損害賠償で和解

経営再建を進めるカリフォルニア州の電力・ガス大手パシフィック・ガス・アンド・エレクトリック（PG&E）社は 2019 年 12 月 6 日、同社の設備が火元となって発生したとされる数件の山火事の被害者らに対し、総額 135 億ドル（約 1 兆 4,600 億円）の損害賠償で和解したことを発表した。同社は既に地元自治体や保険会社との交渉を終えており、山火事被害の請求権を持つすべての主要グループとの和解に達したとしている。また、カリフォルニア州公益事業委員会の安全執行部（SED）は 2019 年 11 月、2018 年の山火事「Camp Fire」に関する調査レポートを発表している。レポートによれば、SED は、PG&E の設備点検・修理の頻度が同社の規定を満たしていなかったことを指摘している。この火災は PG&E 社の送電線設備破損に起因するものであり、適切な点検・修理を行っていれば回避の可能性があったとしている。